

但し解雇後ハ関係ヲ絶ツコト  
而 本或會議ヲ起セシ時ハ解雇手当トシテ二週間分以テ支給セス  
但し會議ニ参加シタル者ハ全部解雇ス

ハ会社側

会社側ニアリテハ目下ノ處相當強硬ノ態度ノ持テテ組合側ニ対抗

シツ、アリ 本月六日更ニ従業員中不穩ト認ムル川又、上田、二職工ヲ

解雇セリ

九従業員側

一 服従業員ニアリテハ目下ノ必格別ノ動搖ナキニ東京鉄工組合ニ

アリテハ本等敵ヲ利用シ従業員ヲ煽動シテ有利解決ノ上組合邊

出ノ策ニ出テント作爲シ執拗ニ抗争ヲ續行スルモノト認メ動靜

視察中

右及申(通)報候也

労社第一三七四号

昭和六年四月九日

警視總監 丸山 鶴吉

111  
23524  
内務大臣 安達謙藏 殿  
社會 局長 官 殿

三年

天野時計宝飾品株式会社ノ労働争議ニ関スル件 (第三報)

要旨 七日ノ労働會見ニ於テ会社側力強硬ノ態度ニ出テ要求ヲ拒絶シタル爲メ従業員代表

ヨリ執拗ニ函索ヲ促サレ九日再會スルコトニ成リ  
平河町工場従業員ハ六日ヨリ總業員會ニシテ引續作業中

標記労働争議ノ其後ノ経過左記ノ通

記

ハ交渉状況